

社会医学におけるエビデンス構築



野村 恭子

Kyoko Nomura

教授 博士（医学）

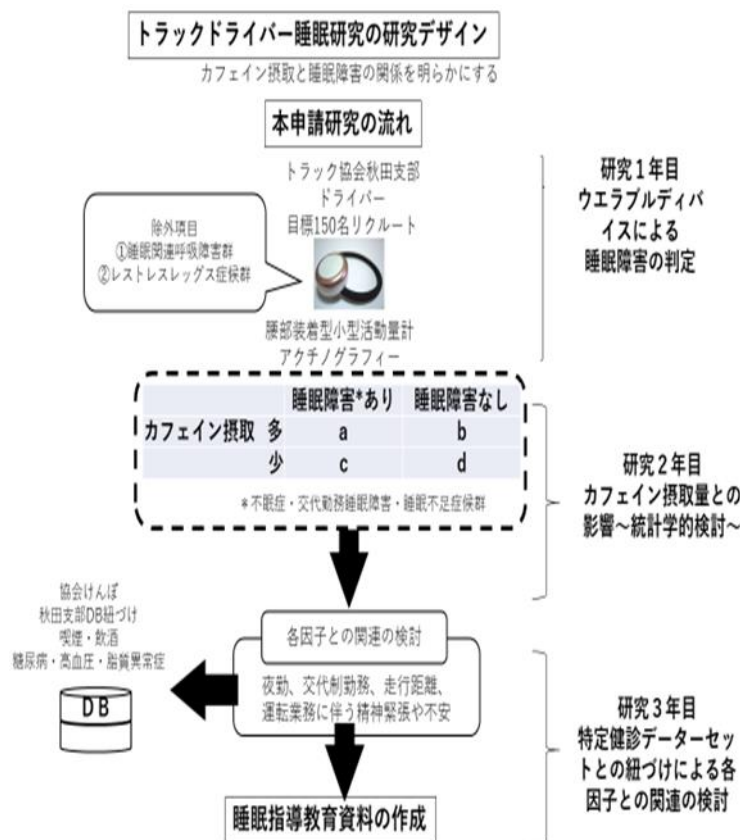
大学院医学系研究科 医学専攻 社会環境医学系
衛生学・公衆衛生学講座

研究キーワード

集団の健康管理、行動変容、疫学、生活習慣病、統計、労働者、女性
メンタルヘルス、母子保健

研究概要

私の専門領域の公衆衛生学は集団の健康管理を対象に統計手法を用いて仮説を検証する学問です。内科と心療内科、労働衛生、母子保健、メンタルヘルスなど幅広い領域において社会因子（収入、教育、家族構成、ときに社会的孤立）が健康にどのように影響を与えるかを疫学指標を用いて算出します。介入試験の効果検証、検査の診断能、なども行います。具体的に現在取り組んでいる研究は、秋田大学学生の子精神衛生向上に向け開発した教育コンテンツの効果検証、HHPVワクチンやCOVIDワクチン接種率への意識と行動変容、患者中心性医療の社会経済因子の分析、母乳栄養育児と子どもの成長、女性労働者のPMS（Premenstrual syndrome月経前症候群）と更年期障害の判定基準作成、協会けんぽ共同研究における業種別の生活習慣病および医療費の研究、トラックドライバーの労働特性と不眠症の関係、働く女性の環境整備、生活習慣病、とくに高血圧の及ぼす脳心血管系疾患への長期の影響、秋田県高齢者における自死念慮の背景因子などです。また科学技術振興機構において 科学技術イノベーション政策のための科学のアドバイザーも務めております。



予想される応用例

製品（食品、健康器具、栄養補助食品など）が人の健康に及ぼす影響についての効果検証、自治体住民健康を目的とした計画立案と評価など

産業界へのアピールポイント

研究デザインの立案 効果検証の方法
公共政策の助言

